

## 第24回 兵庫便教会 報告

3月3日（土）第24回兵庫便教会を芦屋市立朝日ヶ丘小学校のトイレをお借りして開催いたしました。初めての会場となりましたが、T先生のご尽力があったからこそ、お借りできたと思います。ありがとうございます。

今回は13名の参加、朝日ヶ丘小学校の先生も4名参加していただきました。教室での自己紹介のあと、「掃除の道」のDVDをみんなで観ました。第1回の兵庫便教会以来のことです。初めての方にもわかりやすく、何度も見た人も新たな気づきを得ることのできるこのDVDを今後も使って行こうと思います。



男子トイレとその前の洗面台を掃除することにしました。改装されて新しいトイレですが、新しいからこそ汚れが目立つこともあります。尿こしや床、洗面台の汚れを中心に取り組みました。壁や床、鏡が綺麗になると雰囲気が変わります。見た目の美しさが一番大切な事ではないのですが、やはり容易に感じることのできる場所は掃除の入口になるのだろうと思います。

以下のような感想がありました。「便器を磨いているとクラスの子のことを考えた。強く当たっていたことが思い出された。」「普段使っているトイレだが、気づかなかった汚れを見つけることができた。DVDに出てきた『行動が言葉や文字よりも伝わる』を聞いて、自分は言っているだけだと思った。」「他の学校、他の便教会に来ると新しい気づきがある。」「掃除が終わって別のトイレに行くときたなく感じた。掃除をして美しくしたトイレがあるから気づいたのかもしれない。」「いつもと違うトイレを掃除することで新しい気づきを得ることができた。」「道具を洗うときに冷たさを感じた。しかし洗う意味を考えることができた。」「無になる感覚を味わうことができた。仕事の中では自分でやった方が楽な時がある。DVDで鍵山先生が『一人の百歩より、百人の一步』と言われていたことが印象に残った。」「掃除をすると没頭できる。やった人の思いが便器に現われている。」「冷たさとの闘いが普段の仕事と重なった。白い壁でも汚れている。近づかないと見えない。」



このような学びが持てるのも、トイレをお貸しいただいた朝日ヶ丘小学校、道具を提供いただいている西宮掃除に学ぶ会のおかげです。ありがとうございました。

今後は第1土曜もしくは日曜に開催していくつもりです。是非ご参加ください。

（文責 木田）

